

カート道(北コース)の補修終える。中、南コースで継続へ。

ゴールデンウィーク後半も一日を除いて好天に恵まれ、順調な本格シーズン入りとなった。昼間は高温の日が続いたが、朝夕は5度前後に冷え込む日もあり、やしおツツジ、サクラの花持ちがよく、例年になく長い花の季節を楽しめるコース風景となった。

凹凸が激しく、「走りにくい」と悪評のカート道のうち、路面に出来た穴については簡易舗装材の埋め込みを行い、北コースについて完了した。さらに、中、南コースでも同様の補修工事を進める。路面を掘り返す必要がある大きな凹凸については、さらに計画的に改修に当たる。

春の嵐の強風で、北8番のティーグラウンドに枯れ木が倒れ込むトラブルがあった。ティーグラウンドにプレーヤーもいたが、幸いけが人などは出さずに済んだ。乗用カートのスコアの入力装置を支える支柱の強度が足りずに、折れるトラブルが起きていたが、すべての支柱を交換し不都合は解消した。

5月18日にはクラブ選手権予選が開幕、6月12日には第39回栃木県アマゴルフ選手権のブロック予選などの大会も始まる。それに向け、コースの整備も日ごとに拍車がかかっている。

北コース 3 番 ティー後方



南コース 1 番 グリーン脇



ガードバンカーの砂の補充、入れ替えも進む。

砂が飛び散ったり、固まったりしたガードバンカーが目立っていたが、新しい砂を追加したり、小石などの障害物を除きながらして、改良作業を進めている。とくに、今冬は強風に見舞われた日が多く、古い桜や雑木の倒木も多く、バンカーの砂の飛散率も多かった。バンカー以外でも北1番のティーグラウンド脇の倉庫の屋根が倒木で壊れたが、その修復も終了した。



クラブ選手権でクラブ競技の幕開け。

クラブ選手権予選が18日に行われ、クラブ競技の幕を開けた。予選には31人が参加、27ホール・ストロークプレーで、上位16人が選抜され決勝1、2回戦に進む。6月1日に準決勝、同8日に決勝がそれぞれマッチプレーで行われる。

6月5日(木)に「ダブルスゴルフチャレンジカップin那須塩原」。

那須塩原市で開催された国体・ゴルフ競技のレガシーとして、チーム戦の楽しさと緊張感を体感し、市民スポーツの普及推進を目指すゴルフのダブルス戦が、6月5日に塩カンで開かれる。今年で3回目で、黒磯・板室・塩原にある16軒のホテル、旅館の宿泊を希望する参加者には、1名2000円の宿泊料金割引が適用される。

競技方法は18ホールストロークプレーで、2人のうちどちらか少ないスコアをそのホールのスコアとしその合計で順位を決める。グロス、ネットの部に分かれ、いずれかを選択出来る。参加費は6000円(当日朝、受付時に支払い)、プレー費は7100円(昼食付き、ラウンド後現地支払い)。定員はグロス、ネットの部とも50チーム(100人)

▽問い合わせ

那須塩原市公式ホームページ

那須塩原市ダブルス大会実行委員会 0287-62-7156

(ご予約は5月19日で締め切りとなりました)

▽宿泊割引適用のホテル、旅館は以下の通り。

【黒磯・板室】

- ・ 幸乃湯温泉、山喜、勝風館、ホテル相馬屋、旅館ときわ、那須塩原ステーションホテル

【塩原】

- ・ 湯守田中屋、旅館恵山荘、明賀屋本館、光雲荘、柏屋旅館、湯の花荘、ホテルニューもみぢ、伊藤園ホテル塩原、赤沢温泉旅館、奥塩原高原ホテル

第3回 ダブルスゴルフ チャレンジカップ IN 那須塩原

**宿泊料金
2,000円割引！**
詳細は裏面へ

**お申込みは
3月10日(月)から
5月19日(月)まで！**





詳細、お申込み
はこちら

令和7年6月5日(木) 市外、県外の参加者大歓迎！
塩原カントリークラブ 豪華賞品多数！
(順位賞、どひ賞、ブービー賞)

参加費 ○プレー費 7,100円/1人(昼食付) ○大会参加費 6,000円/1チーム 競技方法 ○18歳以上のアマチュアのみ ※高校生は除く ○2人1組(ダブルス)のチーム戦 ○18ホールズフォアボール ストロークプレー	申込方法 上記のQRコードにアクセスし、希望する部門へお申込みください。※先着順、定員になり次第締切 ○グロスの部：50チーム(100人) 競技性が強い部門になります。腕に覚えのあるゴルファー向けです。 ○ネットの部：50チーム(100人) いっしょに違った形式のゴルフ体験です。パートナーと一緒に楽しみください。
--	---

ダブルスゴルフ大会実行委員会(那須塩原スポーツコミュニケーション事務局)
TEL: 0287-62-7156 MAIL: tourism@city.nasushiobara.tochigi.jp



【雑草博士のグリーン談義】

前宇都宮大学教授 小笠原 勝

土壌中における種子の挙動(3)

前回はスズメノカタビラのさまざまな繁殖方法についてお話ししました。今回は繁殖方法の一つである種子に着目し、種子が土壌に落ちた後にどのような運命を辿るのか、土壌中における種子の挙動についてお話しします。

スズメノカタビラは前年の秋に発芽して冬を越し、そして春に開花・結実します。しかし親植物から離れて土壌に落ちた種子は直ぐには発芽しません。なぜ、スズメノカタビラ種子は春に発芽しないのでしょうか？それはスズメノカタビラが湿った涼しいところを好む植物だからです。春の連休が明けると、気温は一気に上昇し、季節は酷暑の夏に移ります。もし、春に発芽すると夏の猛烈な暑さと乾燥に遭遇し、枯死してしまいます。つまりスズメノカタビラは不良環境を種子でやり過ごすために、わざと発芽しないようにしているのです。種子が発芽しなくなることを休眠と呼んでいます。休眠は、単純に低温や乾燥で発芽しない環境休眠と、生育条件が揃っていても発芽しない生理的な休眠に大別されます。スズメノカタビラ種子の休眠は乾燥と高温によって誘導され、植物ホルモンのアブシジン酸が関与していると考えられていますが、その詳細なメカニズムはよく分かっていません。休眠の深さは、種子が作られる時期や花序の中の着生位置さらには高温や乾燥への曝露の程度によって異なり一様ではありません。これが不斉一で長期間に及ぶ発生につながり、さらには防除の難しさの原因にもなっています。

一方、土壌に落ちた種子の一部はアリやコオロギなどの土壌昆虫の餌になります。以前、収穫アリと雑草種子の関係を調べたことがあります。収穫アリとは、イソップ物語のアリとギリギリスに登場するアリです。日本にはクロナガアリという収穫アリがいます。このクロナガアリに好物のメヒシバ種子を与えたところ、それこそ身を粉にして真っ黒になってせっせとメヒシバ種子を巣に運び入れました。ところが驚くべきことに、実験には休眠覚醒済の種子を使ったにもかかわらず、巣の中に蓄えられた種子は全く発芽しませんでした。巣の中は適度な温度と湿度が保たれてメヒシバ種子の発芽に好適な条件であるにもかかわらず発芽しなかったのです。それが蟻酸なのかどうか分かりませんが、もしかしたらクロナガアリが未知の発芽阻害物質を出しているのではないかと考えたこともあります。

話を元に戻しましょう。休眠に入った種子は秋になると眠りから覚めて発芽するようになります。春に眠りに入り、秋に眠りから覚める。スズメノカタビラ種子はどのようにして季節を感じているのでしょうか？春は三寒四温と呼ばれるように、寒さと暖かさが交互に訪れてきて少しずつ暖かくなってきます。逆に秋は少しずつ寒くなってきます。スズメノカタビラ種子は季節を地温の変化として捉えているのかも知れませんが、変温と適度な湿度によってスズメノカタビラ種子の休眠は覚醒しますが、極端な乾燥や高温に遭遇すると再び休眠してしまいます。これを2次休眠と呼びます。



土壌中の種子は休眠と覚醒を繰り返しながら、発芽したり、昆虫の餌になったり、あるいは寿命や除草剤で死んでいきます。種子の消費量よりも同等かそれ以上の量の種子が外界から供給されていれば、土壌中には常に一定量の種子が蓄えられていることになります。これが埋土種子集団 (seed bank: 土壌中の種子の銀行) と呼ばれるものです。取っても取っても次から次へと雑草が出てくるのは、土壌中の埋土種子集団がなくなるからです。





【中里鉄也の目・Q&A】

Q：芝の伸びたラフからボールを上手く出すコツを教えてください

A：いくつかポイントに分けてお話していきましょう。

●クラブの選択

芝が絡みつきやすい状況では、ロフトの立ったクラブ(例:ドライバー、フェアウェイウッド)は芝に負けてしまい、フェースが開きにくくなります。サンドウェッジやアプローチウェッジなど、ロフトのあるクラブを選ぶことで、芝の抵抗を受けにくく、ボールの下に入りやすくなります。グリーンが近い場合は、無理にグリーンオンを狙わず、ピッチングウェッジやサンドウェッジで確実にフェアウェイに出すことを優先するのも賢明な選択です

●アドレス

通常よりもボールを少し右足寄りに置くことで、クラブがダウンプローに入りやすくなり、芝の抵抗を減らしてボールにコンタクトしやすくなります。少しオープンスタンスに構えることで、クラブがアウトサイドインに振りやすくなり、芝の抵抗を受け流しやすくなります。

ラフでは足場が不安定になりがちです。重心を低くし、どっしりとしたアドレスを心がけましょう。

●スイング

ラフからでは、芝の抵抗を減らすために、クラブを上から鋭角に打ち込むダウンプローが基本です。払い打ちでは芝に負けてしまいます。バックスイングで手首のコックをしっかりと使い、トップでクラブを高く上げ、鋭角に下ろす準備をします。

ボールの先、芝ごと打ち抜くイメージを持つことで、しっかりとボールにコンタクトできます。ただし、無理に深く掘り起こす必要はありません。芝の抵抗が大きいので、無理に大きなフォローを取ろうとすると、クラブが芝に絡まってしまいます。フォローは比較的短く、低く抑える意識で振り抜きましょう。体全体でスイングするよりも、腕の力を意識してコンパクトに振り抜く方が、芝の抵抗に負けずにヘッドを走らせやすくなります。ある程度の力は必要です。芝の抵抗に打ち勝つためのパワーは意識しましょう。ただし、力みすぎは禁物です。

●メンタル

ラフからグリーンを狙うのが難しい場合は、無理をせず、確実にフェアウェイに出すことを優先する勇気も必要です。リカバリーショットだと割り切ることも大切です。ラフは状況判断が難しい場所です。焦らず、落ち着いて状況を把握し、最適な選択をしましょう。

「絶対に出してやる！」という強い気持ちで臨むことが、成功への第一歩です。

●練習方法

練習場のマットではなく、可能であればアプローチ練習場などで実際にラフに近い状態の芝から打つ練習をしてみましょう。短いクラブでターフをしっかりと取る練習を繰り返すことで、ダウンプローの感覚が養われます。

ラフからのショットは、ゴルファーにとって挑戦的な状況ですが、適切なクラブ選択とスイングの意識、そして落ち着いた判断で、必ず良い結果に繋がります。頑張ってください！応援しています。



編集後記

アメリカファーストを唱えて関税戦略を掲げ、世界を混乱させているトランプ大統領が、映画にも関税をかける構えとか。米プロゴルフ界も大統領流に分析すると、アメリカンファーストとは言い切れない様相だろう。とくに女子はひところの韓国勢に加えて、今年は日本勢の躍進も華々しく、最初のメジャータイトルのシェブロン選手権は『セゴドン』こと西郷真央が手にした。野球では大谷翔平らの活躍はアメリカ中の話題だ。「自動車関税カタキを」と思われたのではたまったもんじゃないが。

井上安正

